



## 新年あけましておめでとうございます。

2023年、そして3学期を迎えました。本年もよろしくお願いいたします。  
新型コロナウイルス感染症の第8波に加え、インフルエンザの流行も心配な時期に入りました。互いの表情が見えるマスクなしの生活に戻したいと願いつつも、文字通り繰り返す感染の波に翻弄されています。



今月末には、5年生の観音山自然教室が予定されています。昨年度、コロナの感染拡大により中止せざるを得なかった自然教室を今年は実施することができるよう引き続き基本的な感染症対策に努めながら、教育活動を進めてまいります。皆様の御理解と御協力、お力添えをよろしくお願いいたします。

## 3学期始業式 ～校長先生のお話～

2学期の終業式では、「冬休み、自分のうちにある弱さと戦ってください」という話をしました。自分に闘いを挑んで、充実した冬休みを過ごすことはできましたか。「はい、戦いました。」という人だけでなく、「戦ったけど、負けちゃった。」という人もいるかもしれません。大丈夫です。「自分との戦い」をしようとしたということに意味があります。負けてしまったと思う人は、次は勝てるよう作戦を立ててみてください。

この冬休み、私は、少しやせたいと思っていたので、夕方か夜に約10kmのウォーキングをすることにしました。毎日続けることはできませんでしたが、久しぶりにたくさん運動して気持ちよかったです。



さて、ウォーキングの際、私はスクールガードリーダーの海野さんにいただいた竹の杖をもって行きました。以前、何度かイノシシに出会ったことがあるためです。杖の音がすると野生の動物は、近づいてきません。万が一出会っても、杖を武器に戦うこともできるかなと考えていました。幸い、この冬休みはイノシシに遭わずにすみしました。

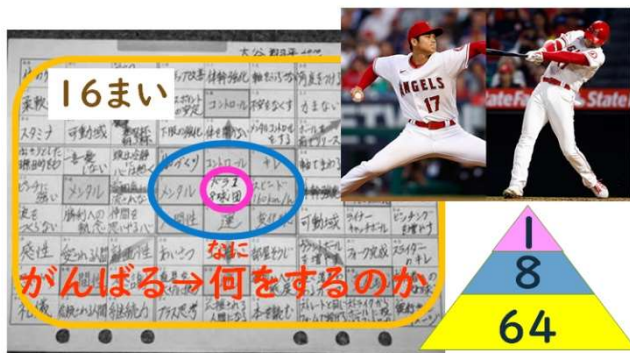
竹の杖は、中が空洞なのでごく軽いのですが、とっても丈夫です。多少曲がりますが、折れることはありません。曲がるけど折れないのは、節があるおかげです。竹の節が丈夫さの秘密なんですね。私の杖は、竹の根元に近い部分を使って作ってあるので、節が多く、その分とても丈夫なのです。

竹の節の数は、タケノコの時から決まっているそうです。では、私たち人間に節はあるのでしょうか？人間には、関節はありますが、竹のような節はありません。

でも、私たち人間は、心に節をつくることができます。節目、節目で自分を振り返り、目標を立てることで、節ができていくのです。振り返って目標を立てるだけではダメです。目標を立てたら、努力する、がんばることが必要です。頑張れば頑張った分だけ節目となる時には、立派な節が心にできるのです。



メジャーリーグで活躍している大谷選手は、高校1年生の時に「高校卒業時にドラフト会議で8つの球団から1位指名を受ける」という目標を立てました。そして、その目標を達成するための努力目標を8つ決めました。さらに、その8つの努力目標を達成するために努力することを決めて、64こ紙に書き出していました。目標達成シートとして有名になりましたが、大谷選手は高校3年間で、16枚の目標達成シートをつくりました。節目が16回あったのかもしれないね。



新年を迎えました。節目です。3学期は1年の締めくくりの学期です。節目です。そして、3月には学年が変わる大きな節目を迎えます。自分の心にしっかりとした節をつくるチャンスです。大谷選手のようにたくさんの目標を決めなくても大丈夫です。1つでも2つでもいい、自分の目標、具体的に何をやるのか、節目の今、決めておきたいですね。

さあ、3学期です。校長先生からみなさんに2つのお願いがあります。

1つめは、「3学期は『ありがとう』の気持ちをもとう、表そう」ということです。いろいろな人や物に感謝の気持ちをもって過ごしてほしいです。

2つめは、「楽しい3学期にしましょう」ということです。楽しい学校をつくるのはあなた自身です。「自分も相手も大切にする子」この目標を達成できれば、きっと楽しい浅羽東小学校がつかれると信じています。今年も、よろしくお願いします。

「ありがとう」の気持ちをもとう、表そう

6ねんせいに クラスメイトに お世話になった人にお世話になった先生に きょうしつに がっこうに

たの 楽しい3学期に!

たの がっこう 楽しい学校にするのは自分です!

「自分も相手も大切にする子」



始業式では1年生、3年生、5年生の代表児童が堂々と意見発表を行いました。

1年生は、なわとびのあやとびと国語の漢字を頑張りたい、3年生はリコーダーと国語の文章問題を頑張りたいという決意を発表してくれました。自分のできないことや苦手なことに挑戦し、苦手を得意にかえたいという強い気持ちが伝わってきました。5年生は、間近に迫った観音山の自然教室を仲間と協力して成功させたい、そして最高学年になるという自覚を高めていきたいという思いを述べてくれました。3人とも冬休みに作文し、おうちで発表練習をしてくれたそうです。



代表での意見発表をやってみようという子どもたちの意欲と真剣な準備と取組がたいへん立派でした。

3学期はわずか49日間です。子どもたちといっしょに充実した学期にしたいと思えます。新しい年も御支援をよろしくお願いします。

